ご案内

市役所まち☆ベジ市

認定農業者が作った町田産新鮮な野菜の販売です。
※直接会場へおいで下さい。
日10月19日㈪午前11時～午後1時（売り切れ次第終了）
場市庁舎前
問農業振興課☎724・2166 FAX050・3101・9913

秋号を発行しました！～町田市講座・イベント情報誌
生涯学習NAVI 好き！学び！

市内や近隣で10～12月に催される成人向けの講座・イベント等の情報を掲載しています。
配布場所生涯学習センター、市庁舎、各市民センター、町田・南町田・鶴川の各駅前連絡所各市立図書館等
※町田市ホームページでもご覧いただけます。
問生涯学習センター☎728・0071 FAX728・0073

男女平等推進センター・町田商工会議所 共催講座

【「大介護時代」に向けて会社が準備しておきたいこと～社員が長く働き続けられる会社であるために】
対市内企業人事・労務担当者
日10月22日㈭午後3時～5時
内法律の知識を交えて、最近の仕事と介護事情に関する話、育児・介護休業法に則った就業規則の改正ポイント、市の介護認定の手続きの流れや特別養護老人ホームの入所状況について
申参加者氏名・電話番号・参加人数を明示し、10月21日までに電話、FAXまたはEメールで男女平等推進センター（✉mcity2110@city.machida.tokyo.jp）へ。

【親の介護が始まっても慌てない！知っておきたい介護保険制度の「いろは」～事前の準備と心構えで状況は違ってくる】
市の介護認定手続きの流れや特別養護老人ホームの入所状況など、介護情報の基本をお伝えします。
対働いている方
日10月31日㈯午後1時～3時
申10月14日正午～29日に電話でイベントダイヤル（☎724・5656）へ。
◇
場町田市民フォーラム
講社会保険労務士・大塚隆裕

介護予防教室の様子

カワセミ通信106

町田市長 石阪丈一

残暑らしい残暑も無く、季節は一気に秋になりました。先月号で「残暑はまだこれから、体調管理を」と書きましたが、大はずれになってしまいました。

早朝のランニングのついでに、近所のヒガンバナの開花の様子を観察して回りました。まず、開花は例年より早いようです。9月の第1週には開花して、彼岸の頃には盛りを過ぎていました。今は、花茎が倒れたあとに葉が出てきています。これから、来年の4月ごろまでは、周りの草が枯れた後、日光を独り占めして球根を肥育し、9月の開花に備えます。

キンモクセイも9月の中旬から、それとわかる甘い香りを周りに届けていましたが、9月中に花が終わり、これも例年より開花が早い気がします。畑の境や生け垣の茶の木に白い花が咲き始めました。

さて、先月号では、介護ロボットの最先端の話を書きましたが、今月は「介護予防月間」です。町田市は、介護の状態になるのを防ぐ、介護予防にも重点的に施策を展開しています。先月末のオープニングイベントでは、認知症予防の講演会や市内で活躍している高齢者のグループの発表などがありました。介護予防や認知症の予防には何らかの活動に打ち込むことや新しいことにチャレンジすることが効果的といわれています。

今月は、市内12か所の高齢者支援センターを中心に、介護予防に役立つ数々のイベントがあります。ぜひ参加をしてみてはいかがでしょうか。

また、予防とともに課題として介護の問題があります。

介護が必要な状態、要介護の場合は、やはり誰がどこでケアを担うかが大きな問題になります。介護の問題は、在宅での介護が中心になるといっても、施設介護のニーズが減っているわけでもありません。また、認知症の場合は、家族の介護が難しいケースもあります。

町田市は、介護保険事業第4期（2009～2011年度）から、5期、6期と、特養など高齢者施設の整備に力を入れてきました。都と協調して補助制度を創設し、運営法人を全国から公募し、町田市内での、住み慣れた地域での施設整備を促進してきました。6か年で、9施設773床が整備され、2009年度には、入所申し込みから半年以内に入れる高齢者の率は、23・7％だったのが、現在、2014年では55・7％までに入所率が増加し、1年以内に入所できた方の比率は76・1％までになり、入所待ちの期間は大幅に短縮されました。

介護予防月間です。高齢者が住み慣れた地域でイキイキと暮らすことについてもう一度考えてみる機会でもあります。

JICAボランティアとして 4人が派遣されました

市内にお住まいの4人の方が、JICA［(独)国際協力機構］ボランティアとして派遣先が決まり、その報告のため9月25日に市役所を訪れました。

小村井恵さんと栗原俊夫さんはシニア海外ボランティアとして、石島裕太さんと岡村太介さんは青年海外協力隊として、出発されました。

小村井さんはモロッコで今後展開する音楽教育のプログラム策定や、教員への研修、授業の支援等を行います。

「現地の文化を学びながら、地域にあった支援を行いたい」と話されました。

コロンビアに派遣される栗原さんは、電機メーカー在職中の経験を役立てたいと、これまでも短期の海外ボランティアを経験されました。「仕事を進めるのはもちろん、現地の方と交流を深めたい」と話されました。

石島さんは、ケニアの視覚・聴覚障害者職業訓練センターで指圧や按摩（あんま）の技術を教え、視覚障害者の自立支援を行います。「妥協しないで頑張りたい」と話されました。

岡村さんはベトナムの消防大学で空手道の指導を行います。「常に笑顔で頑張りたい」と話されました。

皆さん2年間の派遣となります。現地でのご活躍を期待します。

左から、石島さん、小村井さん、栗原さん、岡村さん

消費生活センター～11月は町田市消費者月間です

【くらしに役立つテスト教室～遺伝子組換え食品を考える】
東京都と共催です。
対市内在住、在勤、在学の両日参加できる方
日①11月12日②11月19日、いずれも木曜日午前10時～午後0時30分、全2回
場町田市民フォーラム
内①実験＝DNAを取り出そう②調理実習＝国産大豆で豆腐を作ろう
講①コンシューマー技術教育研究会・澤木佐重子氏②同研究会・福岡ひとみ氏
定24人（申し込み順）
費①100円（検体費）②150円（材料費）
申住所（町名のみ）・氏名・電話番号を明示し、10月13日～11月8日に電話でイベントダイヤル（☎724・5656）へ。保育希望者（1歳以上の未就学児、申し込み順に6人）は併せて申し込みを。
問同センター☎725・8805 FAX722・4263

家族介護者教室

介護方法等の知識普及のための講座です。お住まいの地区を担当する高齢者支援センター以外の教室にも参加できます。
※詳細は各高齢者支援センターへお問い合わせ下さい。

【歌声 喫茶でリフレッシュ！】
なじみのある歌を通して、コミュニケーションを図る方法を学びます。
日11月7日㈯午後2時～4時
場特別養護老人ホームコモンズ
定20人（申し込み順）
費100円
申電話で町田第1高齢者支援センター（☎728・9215）へ。

【認知症の人の気持ちと病気の理解】
日11月10日㈫午後1時30分～3時30分
場さかいがわ会館
定15人（申し込み順）
申電話で忠生第2高齢者支援センター（☎792・1105）へ。

【認知症家族との付き合い方】
認知症の方ご本人も一緒に参加できます。
※さくらカフェで開催します。
日11月15日㈰午後2時～4時
場ふれあい桜館
定20人（申し込み順）
費100円（飲み物代）
申電話で忠生第1高齢者支援センター（☎797・8032）へ。
◇
問高齢者福祉課☎724・2140 FAX050・3101・6180

町田市自然休暇村 年末年始の利用案内

年末年始は2泊3日での申し込みとなります（抽選、利用は本館のみ）。
対市内在住、在勤、在学の方と同伴者
利用日1番（12月29日～31日）、2番（12月31日～2016年1月2日）、3番（2016年1月2日～4日）
申「町田市自然休暇村年末年始利用申込」と書き、利用希望日の申込番号（第2希望まで可）・代表者の住所（市内在勤で市外在住の方はその旨を明記）・氏名・電話番号（携帯電話をお持ちの方は携帯番号も）・利用予定者（大人［中学生以上］・小学生・幼児［寝具の有無］）の各人数を明記し、11月10日まで（必着）にハガキ、FAXまたはEメールで町田市自然休暇村（〒384―1403、長野県南佐久郡川上村秋山53―15、FAX0267・99・2240 ✉info@machidakyukamura.jp）へ（1グループ1通、重複申込は無効）。
※1泊、3泊の申し込みの方は、抽選後の申し込みになります。
問町田市自然休暇村☎0267・99・2912

マイナンバー更新作業にご注意を！
市の職員を装い、個人情報をだまし取ろうとする電話が多数発生しています。不審な 問町田警察署☎722・0110 南大沢警察署(相原町、小山町、小山ヶ丘の方)☎042・658・0110